



宝物を伝え 引き継ぐ

校長 坂野美恵

2月3日(金)に、「ふなきの会」を行います。生活科や総合的な学習の時間に、課題をもって追究し、学んだことからものを伝え合う会です。今年度は、新型コロナウイルスのため、校外に出かけて探求したり、たくさんの地域の方とふれあいながら活動したりする等のことが制限された時もあったため、生活科や総合的な学習の時間以外でつくった学級の宝物も含めての交流となります。

あと数日後に迫った「ふなきの会」に向けて、自分たちの自慢をより分かりやすく伝えようと、どの学級も一生懸命取り組んでいます。2年生は、お昼の放送で委員会のお知らせを分かりやすく伝えている高学年の姿を見て、「自分たちもタブレットを使って、プレゼンをつくりたい。」という思いをもち、6年生に教えてもらいました。優しく見守ってもらいながら、写真を取り込んだり、文字を入れたり、プレゼンづくりに挑戦し、自分の力でつくることできるようになりました。3年生では、ハリヨについて自分たちが追究してきたことを伝えようと、各班で意見を出し合って原稿をつくったり、発表で使うスライドをつくったりしています。1年生は、生活科でつくった遊びを実際に行き、その楽しさを味わってもらおうと、道具に工夫を加えたり、



説明原稿を暗記するくらい読み上げて練習したりしています。

仲間と相談しながら、自分たちで考えてよりよいものをつくっていかうとする姿に、たくましさとの1年間の成長を感じます。一人一人の努力が実り、素敵な「ふなきの会」になることを願っています。

支えてくださっている地域の方に 伝えたい「ありがとう」の心

毎日、安全に登校できるように、見守ってくださっている見守り隊のみなさん。朝の健康チェックをお手伝いいただいている民生委員のみなさん。本の魅力を教えてくださる読み聞かせボランティアのみなさん。学習に協力してくださった方々。…たくさんの方に支えられ、この1年学ぶことができました。支えてくださっている方の思いに心を馳せ、感謝の気持ちをもてる子であってほしいと思います。

